

平成 30 年度第 1 回開成町総合教育会議 議事録

日時：平成 30 年 9 月 26 日（水）16 時～17 時

場所：町民センター中会議室 B

出席者：（町）府川町長

（教育委員会）鳥海教育長、村岡委員、露木委員、上野委員、本澤委員

（説明員）加藤教育委員会事務局参事、中戸川教育総務課長

（事務局）岩本企画政策課長、高橋主事

町長あいさつ

○先日の開成小学校・開成南小学校の運動会では、子ども達の力が大きいことを改めて感じた。町の敬老会では、ブルーバースの子どもたちの力強い演奏を聴いた多くの皆さんが大変驚いていた。今後、子どもたちの活躍の場を作っていくべきと感じた。

○現在、後期基本計画の策定作業を行っている。ここ数年、教育環境の設備やソフト面での充実など、若い世代の方々に移り住んでもらえるような施策を講じてきたが、今後も教育委員と行政とで力をあわせて、さらに充実させていきたい。

教育長あいさつ

○町長より、地震による文命中学校の修学旅行キャンセル料の支援や空調設備の早期前倒し設置、ブロック塀の危険個所の調査や見守り等のご指示をいただき、大変ありがたく感じた。今後も町長部局と教育行政で連携をとりながら、開成町の子ども達や青少年のために成果を上げていきたい。

議題 1 協議事項 開成町立文命中学校 空調設備設置工事について

中戸川教育総務課長より、資料 1 に沿って説明。

【意見交換】

町長：工事は本来夏休み期間中に行うべきものであるが、暑くなる前に完成させるために早期前倒しで計画を進めたい。教育委員会の皆さまからも学校への協力をお願いしたい。また国のほうに補助金の陳情を行っていく。

教育長：資料 1 の空調設置予定図について、すでに空調が設置されている部分を明確にし、てほしい。また運用経費はどの程度か。新たに空調を設置したことによる電気代等の試算もすべき。

加藤参事：行う予定となっている。

町長：今の件、お願いしたい。再生エネルギーや新庁舎のZEBエネルギーを採用する等環境に優しい町を目指す姿勢がある。空調設置に伴い町全体としての電力使用量が増えるので、保護者の皆さまに節電をお願いするような雰囲気を作ってほしい。

議題2 協議事項 開成小学校 プールの取扱いについて

中戸川教育総務課長より、資料2に沿って説明。

【意見交換】

町長：プールの今後の方向性について示す必要があると考えている。すぐに学校プールを作るとことは考えていない。プールは子ども達だけでなく、社会教育や高齢者の関係でも活用する可能性もあるので、さまざまな活用方法を検討していきたい。これからは、広域の中でこういったものを作っていくということになると考える。他の市町でもプールの老朽化等の中でこういった課題が出てくると考える。現段階では、町単独で結論を出すことが出来ないため、教育委員会のご意見を尊重しながら、町部局としても検討していきたい。

町長：保護者からは、プールへの往復のためのバスについて、少し豪華ではないかという意見もある。

村岡委員：安全のため子ども達全員が座って移動できるようなバスとなると現在のバスの大きさとなる。

村岡委員：資料2の最後のページに、（学校プールを新たに建設するための経費について）“文命中学校大規模改修、開成小学校運動場改修等の既に計画されている事業、更には、より充実した教育環境の整備に活用されることを望むところです。”とあるが、使わなくなった学校プールの建設費用については、どのように使ったか町民に目に見える形で使い道を示す必要がある。一例をあげれば、低学年の支援員の充実を図るなど、定住につながる子育て・教育の充実に充てていただきたい。

町長：現場でしかわからないこともあるので、教育委員会の皆さまのご意見を聞きながら、しっかりと手当てをしていきたい。

議題3 協議事項 開成幼稚園（3年間教育）の実施について

中戸川教育総務課長より、資料3に沿って説明。

【意見交換】

町長：議会で質問があったが、3年間教育について、教育長には開成町らしさをお願いし、事前に親子でやってきた3歳児教育の良さをどう入れ込むかということでやってきたが、そのことを議会があまり認知されていなかったと感じた。“らしさ”を外にアピールすることは大事なので、うまく説明できるようにしておいてほしい。また、通園バスの関係で園児が1kmも歩けるのかという質問がでたが、こちらでも調査や保護者の意見等を聞いて、説明できるようにしておいてほしい。

教育長：3歳児が園に通うのは初めてではなく、すでに園で2日間学習しているということをご存知ないことは残念であり、すでにそういった想定はできている。（3歳児教育を）来年から初めて行うのではなく、3年、4年とやってきて、効果があるのでやるという結論を出したということに理解がないように感じた。

（おむつについて）

教育総務課長：幼稚園の先生から、のびのびすくすくルームに通っている園児の保護者ですら、3歳になったらおむつをはずすという感覚を持っていないと聞いて驚いた。その感覚を植え付けていくということに苦労しているとのこと。

教育長：おむつをはかせておけば粗相がなく楽なので、いつまでもはかせておくようになる。1歳過ぎたら自立させようという意識づけが必要。

村岡委員：孫が通う保育園では、園でおむつをはずす準備をはじめたので家庭でも準備をはじめましょうという声掛けを行っている。外部からの声掛け等があればよいが、皆がおむつをしている状態だと、保護者はそれでいいと感じてしまう。

教育長：時代の流れで、おむつの処理を園側で考えるという方向になってきている。

本澤委員：未就園児への教育の中でプログラムとして入れていくしかないのではないかな。

教育長：そういったことでは、のびのび・すくすくルームはやってよかったのではないかな。

（通園バスについて）

町長：通園バスを3台にするという話はでているか。

教育長：バスの乗り降り、園にきた子ども達の指導等を考慮した先生の配置を考えたら、バス 2 台が限界となっている。

町長：承知した。3 歳児がバスの乗り降りをするだけでも時間がかかると思われるので、十分に配慮をお願いしたい。

教育長：課題もあるが、3 歳から集団教育を行うことによって小学校への連携が非常に良くなる。良さが見いだせたので 3 歳児教育を行うということをご理解いただければと思う。

町長：新しいことをやれば、何か課題は出てくるもの。やりながら解決していくしかない。様々なご意見も出ると思うので、町長部局の方にも伝えてほしい。

その他

（資料について）

村岡委員：資料をもう少しはやくいただきたい。

事務局：承知した。

（開成町文化祭について）

本澤委員：町文化祭が今年度も開催されるが、年々子ども達の発表が減ってきている。資料のとおり、開成幼稚園は平成 24 年度、酒田保育園は平成 25 年度を最後に出演していない状況となっている。育成の連続性の観点からも、園児から小学生、中学生、高校生、大人まで連続して発表することが望ましいと考える。

教育長：授業時間の確保のために、特別活動の時間がこれまでは 75 時間あったが、30 時間に減少しているため、その他の教育が出来ない現状がある。また、様々な要因から地域の活動を学校教育の中で行うことは難しいという結論が、平成 19 年の教育改革の中でされている。生涯学習のようなサークル活動等の中で行うしかないのではないか。

町長：部活であれば出演できるか。

教育長：部活であれば出演可能であるが、文化系サークルでは生涯学習指導をする外部講師の確保が難しい。

（郡の音楽会について）

本澤委員：郡の音楽会について、町民が観覧出来るようにしてもよいのではないか。

教育長：上郡全体の学校数から考えると、会場や駐車場の問題等で難しい。保護者向けのコンサートや文命中学校の文化祭がある。

本澤委員：承知した。

町長：学校での発表は保護者だけでなく地域の方々も見られるのか。

教育長：保護者のみとなっている。案内を保護者にのみ出している。

以上